



高齢期のお口の健康チェックと 困ったときの相談方法

～定期的にお口のチェックしていますか？～

2024年3月

株式会社NTTデータ経営研究所

目次

1.はじめに ……p.3

2.お口に関する基礎情報 ……p.4

- (1) お口に関する名称
- (2) 大人の歯（永久歯）
- (3) 歯科の2大疾患

3.歯科専門職へ相談したい症状や状態 ……p.8

- (1) お口の状態チェックリスト
- (2) 高齢期のお口の状態イメージ例
- (3) オーラルフレイルセルフチェック表

4.歯科専門職への相談・指導・ケア等の依頼方法 ……p.11

- (1) お口のお悩み相談フロー
- (2) オンライン相談準備・実施方法
- (3) お口の撮影方法イメージ

5.参考 ……p.18

スマートフォンやタブレット等を活用した

相談・指導・ケア等の実施イメージ

- (1) 歯科領域におけるスマートフォンやタブレット等を
活用したモデルのイメージ
- (2) 歯科領域のスマートフォンやタブレット等を活用した
お口の相談実施の流れ

1.はじめに

本書は、介護施設の職員や自宅でご家族のケアをしている方々等、高齢者を日々サポートしておられる皆様を対象に、高齢者のお口に関連する確認事項や、歯科専門職への相談方法のフローを整理しています。

近年は、スマートフォンやタブレット等を活用できる環境が整っている場合もあり、写真や動画等様々な方法で歯科専門職へ相談することもできます。

直接、歯科専門職に状態を診てもらうことが安心にもつながりますが、直接診てもらうことが難しい場合や相談すべきか悩むこともあるかと思えます。

その場合に気軽に相談できる窓口や方法の整備も進んでいます。

本書をご覧ください高齢者のお口のチェックや歯科専門職と連携するきっかけになれば幸いです。

高齢期のお口のチェック
定期的実施していますか？

少しでもお口の中の変化や
気になったことがあったとき、
相談先はありますか？



スマートフォンやタブレット等の活用について…

本書ではスマートフォンやタブレット等の活用についても記載があります。
活用にあたっては利用する方々との取り決め等しておく必要があります。
また、活用にあたっては、

- ✓ 関係者間で対面や利用以外での円滑なコミュニケーションができています
- ✓ スマートフォンやタブレット等を活用するための機関や施設の準備・整備ができています

等の準備も必要になります。

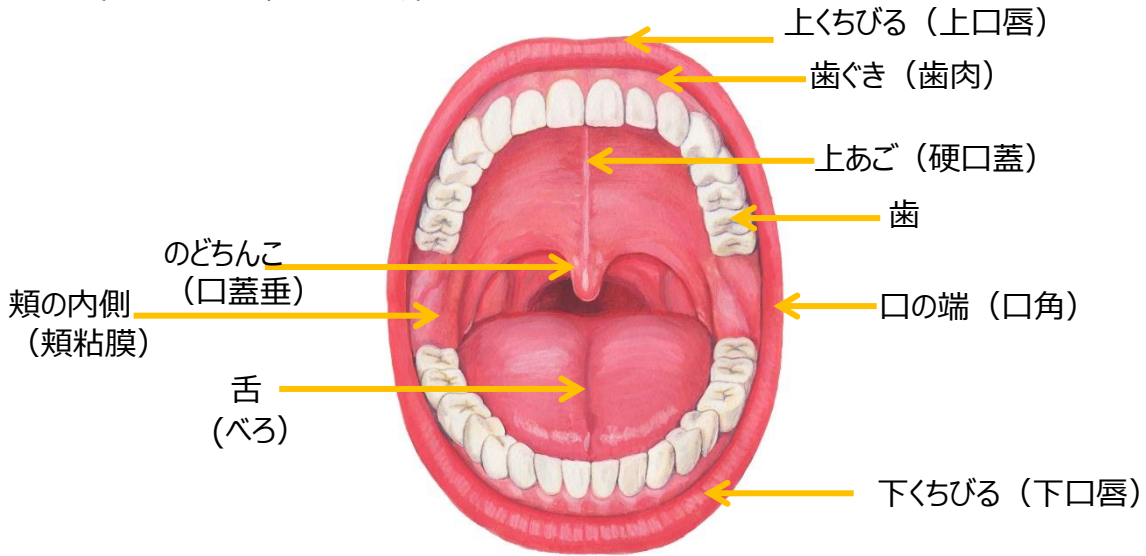
適切に活用することで、“利用者がより健康なお口の状態を維持”していくツールになります。

2. お口に関する基礎情報

(1) お口に関する名称

●お口の主な部位

お口に関する主な部位の名称です。



お口の中を観察・撮影する際に
よく見ていただく部位

歯ぐき

くちびる

頬

舌

●歯肉が腫れていないか、
●出血はないか、
●歯や舌が汚れていないか
等を観察する場合があります。

●補綴物（ほてつぶつ）

入れ歯や被せ物のことを総称して補綴物と呼びます。

補綴物は歯と違って汚れが残りやすいです。入れ歯の着脱をお願いされる場合もありますので、歯科専門職から事前に脱着方法を聞いておくと安心です。

簡単な用語として、以下があります。

クラスプ：入れ歯のバネの部分。義歯が外れないように維持する役割を担う。

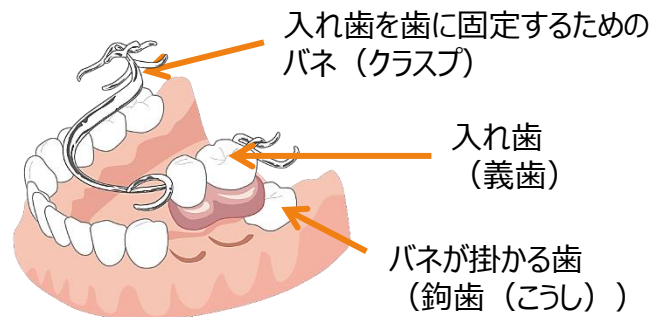
鉤歯（こうし）：金具のかかっている歯。金具が掛かっているため汚れやすい。



詰め物
（インレー）



被せ物
（クラウン）



POINT

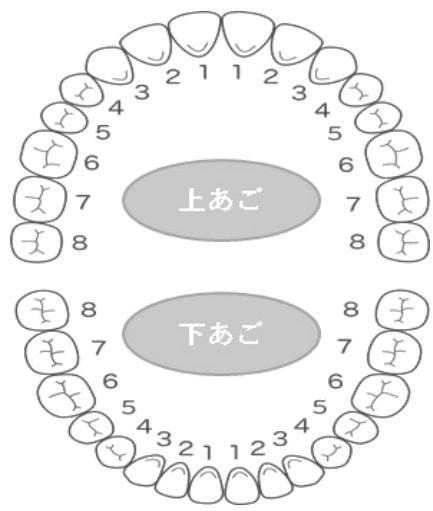
お口の状況を歯科専門職に正確に伝えるには、お口に関する専門用語は有効ですが、歯科専門職の説明や指示に不明点があれば、しっかりと聞き返し、分かりやすい言葉で説明するように求めることも重要です。

2.お口に関する基礎情報

(2) 大人の歯（永久歯）

●大人の歯（永久歯）

歯は、親知らず（第三大臼歯）を含め上下左右8本ずつ計32本あります。むし歯や歯周病で少しずつ歯の本数は減り、高齢になれば全く歯がないという方も少なくありません。歯科では、歯式（ししき）というものを使ってお口の中の状況を表現しています。歯式では、それぞれの歯に数字をあてています。



中央から数えて
●番目

番 目	歯の名前 (よみかた)	役 割 等
1	中切歯（ちゅうせつし）	・食べ物を噛み切る際に活躍します。 ・発音にも影響します。
2	側切歯（そくせつし）	食べ物を噛み切るのに役立ちます。
3	犬歯（けんし）	・糸切り歯と呼ばれ、他の歯に比べて少し先が尖っています。 ・食べ物を切り裂くのに役立ちます。 ・根っこが長く丈夫なので噛み合わせの基本の歯となります。 切歯や臼歯にかかる負担を軽減してくれる役割があります。
4	第一小臼歯 (だいいちしょうきゅうし)	最近では歯ぎしりやくいしばりから歯を守ったりする大切な歯との 見解もあります。
5	第二小臼歯 (だいにしょうきゅうし)	噛み合わせの面に見られる中心結節という突起が見られること が稀にあります。
6	第一大臼歯 (だいいちだいきゅうし)	・永久歯の中で一番大きく、噛む力が強いのが特徴です。 ・永久歯の中で中切歯と同じくらい早期に生える歯で、奥にあ り、形が複雑なことから磨きにくくむし歯になりやすい歯です。
7	第二大臼歯 (だいにだいきゅうし)	親知らず（第三大臼歯）が生えていない場合は、一番奥の 歯になります。
8	第三大臼歯 (だいさんだいきゅうし)	「親知らず」とも呼ばれ、生える場合は一番奥の歯になります。

2.お口に関する基礎情報

(3) 歯科の2大疾患

●歯科の2大疾患

歯周病とむし歯は歯科の2大疾患と言われており、大人の歯を失う原因の多くは、歯周病もしくはむし歯です。

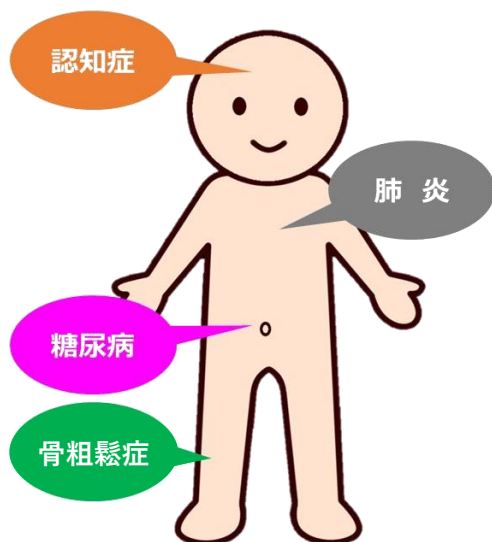
その1：歯周病

歯周病とは…

歯と歯肉の隙間（歯周ポケット）から侵入した細菌が、歯肉に炎症（歯肉炎）を引き起こします。進行すると歯を支える骨（歯槽骨）を溶かし歯がグラグラする状態（歯周炎）になります。

歯周病は、ゆっくり進行する病気で、初期症状はほとんどありません。

日頃の口腔ケアと定期的な歯科受診で検査することが必要です。



“お口”と“身体”

増殖した細菌によって誤嚥性肺炎にかかりやすくなるほか、歯周病は糖尿病、骨粗鬆症、認知症等の全身疾患にも関係しています。医科の病院の受診とともに歯科医院を受診して、お口を確認することでお口の機能の維持・向上につながっていきます。

上記の全身疾患以外にも、狭心症や心筋梗塞などの心疾患、メタボリックシンドローム、関節リウマチ、さらに大腸がんと歯周病の関連性が報告されています。

2.お口に関する基礎情報

(3) 歯科の2大疾患

● 歯科の2大疾患

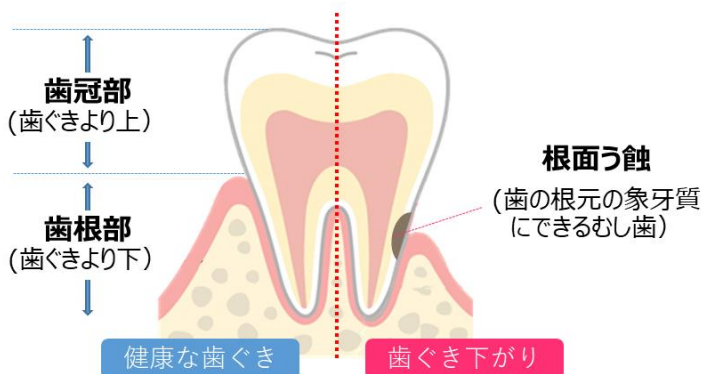
その2：むし歯

大人がなりやすい“むし歯”とは…

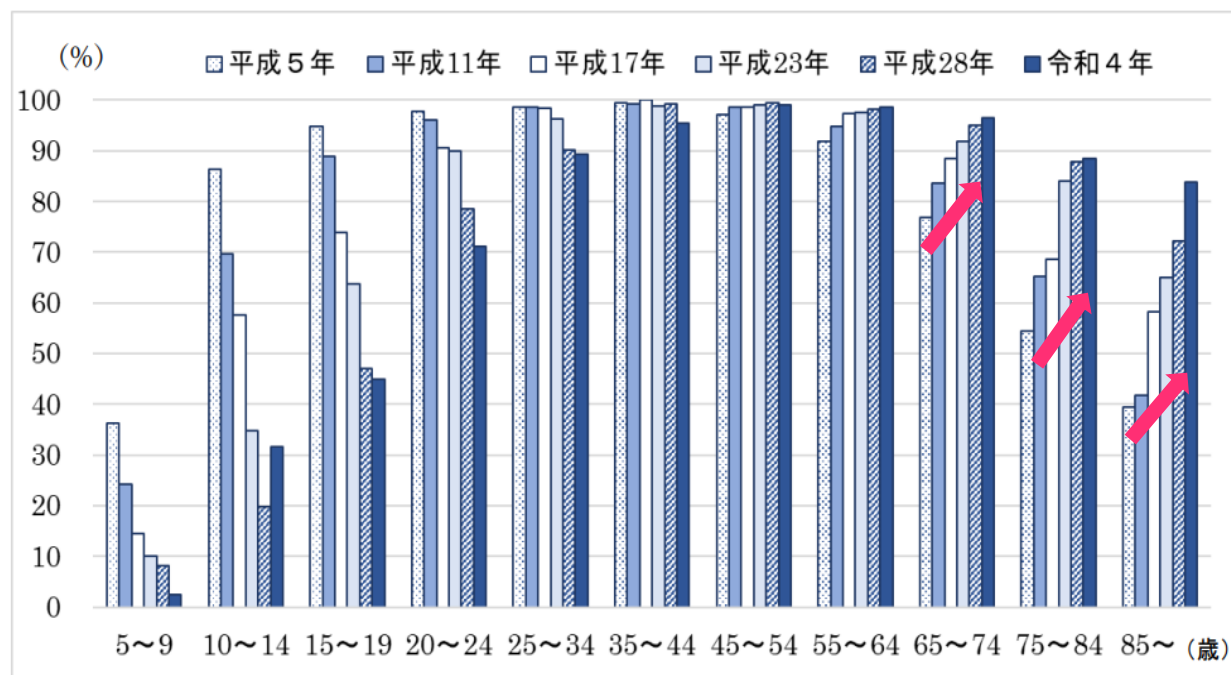
大人がむし歯になりやすいのは
「歯と歯の間」「歯の根元」「奥歯の
噛み合わせの面」の3か所です。

特に歯の根元にできる「根面う蝕」は、
高齢期に多く自分でも気づきにくい
ため、疫学調査では年々増加傾向にあり
ます。進行しやすいむし歯で歯を失う原因
にもなりやすいです。

日々の正しい歯みがきなど、
セルフケアで予防していく必要があります。



むし歯を持つ者の割合の年次推移(永久歯:5歳以上)



注) 平成5年(1993年)以前、平成11年(1999年)以降では、それぞれ未処置歯の診断基準が異なる
出典: 厚生労働省「令和4年歯科疾患実態調査結果の概要」

3. 歯科専門職へ相談したい症状や状態

(1) お口の状態チェックリスト

お口の状態をチェックしてみましょう！

下図の22個のチェックリストのうち 1つでも当てはまったら、歯科専門職に相談することをお勧めします。

お口は痛みを感じずに日々変化しています。

定期的なお家でのチェックと歯科専門職のチェックで健康的なお口の状態を維持できます。

お口の状態チェックリスト ☒

● 日々のケア

- ☐ 歯みがきがうまくできない
- ☐ ぶくぶくうがいができない
- ☐ 入れ歯の清掃がうまくできない
- ☐ 入れ歯が壊れている
(ゆるい、痛い、噛みにくい)
- ☐ 入れ歯があるが
使用されていない
- ☐ 口臭が気になる
- ☐ 歯が欠けたり、被せ物が取れたりしている
- ☐ 歯ぐきから血がでたり、歯ぐきが腫れたりしている
- ☐ 歯がグラグラしている
- ☐ 声がガラガラしていることが多くなってきた
- ☐ 口の中/唇が渴いている
- ☐ 歯の周り等に白いベタベタ
しているものがついている

● 口腔内の変化

- ☐ 舌の色がいつもと違う、
気になる
- ☐ 口腔内がいつもと違うところ
がある・気になる
- ☐ 入れ歯の調子が悪い

● 口腔内の状態・症状

- ☐ 口の中に痛いところや、しみるところがある
- ☐ 歯が抜けたままになっている

● 食事

- ☐ 固いものが食べにく
なっている
- ☐ 食事中にむせやすい
- ☐ 薄味がわかりにくく
濃い味を好むようになった
- ☐ 食べ物が飲み込みにくい
(消化管通過障害)
- ☐ 食事量が減ってきた

1つでも当てはまったら歯科専門職に相談してみましょう！

3. 歯科専門職へ相談したい症状や状態 (2) 高齢期のお口の状態イメージ例

高齢期のきれいなお口の状態と汚いお口の状態の例を提示しています。日々の確認の参考にしてみてください。

お口の状態は一人ひとり異なります。いつもと少しでも変化がある、と感じたら定期的に歯科専門職に相談することをお勧めします。

高齢期のお口の状態イメージ例

きれいなお口



- 汚れが付着していない
- 歯肉がピンク色で引き締まっている
- 出血がない



口腔内が湿潤している

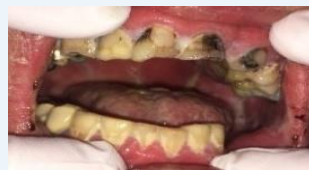


- 舌に汚れが付着していない
- 口臭がない

汚いお口



口腔内が乾燥している



- 歯肉が赤く腫れている
- 口臭がある



歯や舌に食べ物や汚れが付着している



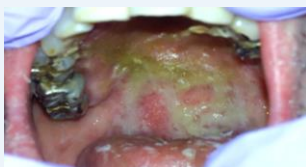
- 出血がある
- 膿が出ている



歯が折れている



グラグラしている



上あごに痰や乾燥した汚れが付着している



入れ歯が割れている

出典：令和3年度厚生労働省事業

「ICTを活用した医科歯科連携等の検証事業等一式」

3. 歯科専門職へ相談したい症状や状態

(3) オーラルフレイルセルフチェック表

高齢になり心身の機能や活力が衰えた状態を「フレイル」と言います。
その中でも特に、お口の働き（口腔機能）の衰えを「オーラルフレイル」と言います。
オーラルフレイルを放置すると全身の衰えにもつながり、「食べる機能に障害」を引き起こします。

オーラルフレイルセルフチェック表

質問項目	はい	いいえ
半年前と比べて、固いものが食べにくくなった	2	
お茶や汁物でむせることがある	2	
入れ歯を使用している※	2	
口の乾きが気になる	1	
半年前と比べて、外出が少なくなった	1	
さきいか・たくあんくらいの固さの食べ物を噛むことができる		1
1日に2回以上、歯を磨く		1
1年に1回以上、歯科医院を受診している		1

合計の
点数が

0～2点	オーラルフレイルの危険性は低い
3点	オーラルフレイルの危険性あり
4点以上	オーラルフレイルの危険性が高い

※東京大学高齢社会総合研究機構 田中友規、飯島勝矢：作表

オーラルフレイル **予防** のために

1

かかりつけの
歯科医師を
もつ

2

お口の
“ささいな衰え”に
気を付ける

3

バランスの取れた
食事を
心がける

“ささいな衰え”を見逃さないために
定期的な歯科受診をお勧めします

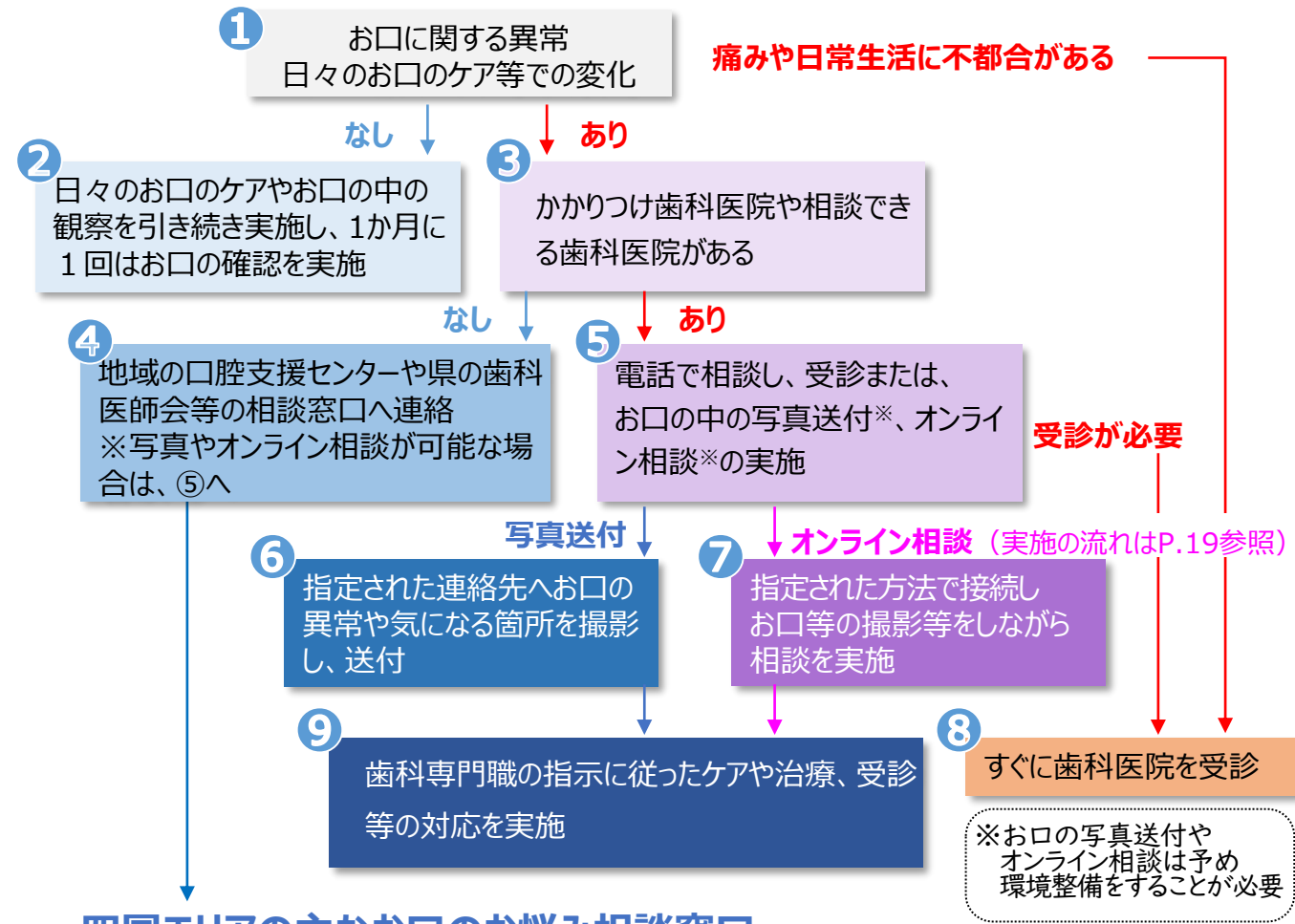
「噛み合わせ」が気になる場合は

4. 歯科専門職への相談・指導・ケア等の依頼方法

(1) お悩み相談フロー

お口のお悩みがある場合の相談先の探し方をご紹介します。
「お口の状態チェックリスト(8ページ)」で当てはまった場合はもちろん、ささいなお口の変化や気になったことがあれば歯科専門職へ相談してみましょう。

お口のお悩み相談フロー



四国エリアの主なお口のお悩み相談窓口

都道府県	問合せ先名	問合せ先	受付時間
徳島県	徳島県歯科医師会 在宅歯科医療連携室 [徳島県補助]	080-2987-4838	月～金(祝日除く) 9:00～17:00
香川県	香川県在宅歯科医療連携室 (香川県歯科医師会内) [香川県委託]	087-851-4965 (https://www.kashi.or.jp/business/zaitaku/ の専用フォーム)	月～金 9:00～17:00
愛媛県	愛媛県口腔保健センター 歯科相談窓口 [愛媛県委託]	089-932-5047	月～金(祝日除く) 9:00～17:00
高知県	高知県歯科医師会 在宅歯科連携室 [高知県委託]	(中央窓口) 在宅歯科連携室 088-875-8020 (幡多窓口) 幡多在宅歯科連携室 0880-34-8500 (安芸窓口) 東部在宅歯科連携室 0887-34-2332	月～金 9:00～17:00

4. 歯科専門職への相談・指導・ケア等の依頼方法

参考：日々の高齢期の歯みがきのポイント紹介

お口の状態は日々変化します。適切なケアの簡単なポイントを紹介しています。
定期的に歯科医院を受診してお口のチェックをすることで健康的なお口を維持できます。

日々のお口のケアのポイント紹介

歯みがきのポイント

自身の歯の本数、入れ歯の利用状況、
歯ぐきの状態などによって歯みがき方
法は変わります。
歯科医院でご自身にあった歯みがき
方法やポイントを指導してもらえます。



入れ歯、詰め物や被せ物
の周辺は汚れやすいです。
気にしながらみがきましょう



手動の歯ブラシがうまく使
えないときは、電動歯ブラ
シもご検討ください



洗口剤などのうがい薬を
利用するとお口の中の菌
の繁殖を抑えられます

入れ歯のお手入れ方法

入れ歯は汚れやすいので、
1日1回は外して手入れを心がけましょう。



①洗面器等の上で、水を流しながら
表面を傷つけないよう軽く磨きます



②洗剤を使って、
目に見えない細菌類を消毒します

入れ歯は一度作って終了ではありません。
違和感があったら、歯科医院を受診し
て相談しましょう。お口の変化に応じて
調整してもらうことで、徐々になじんで
いきます。

自宅での日々のお手入れでは取り切れない汚れ、あるいはお手入れのクセの確認など、
歯科医院でしかできない確認や指導があります。

最低でも年に1回、定期的に歯科医院を受診してお口のチェックや清掃方法など
プロの確認や指導を受けましょう！

4. 歯科専門職への相談・指導・ケア等の依頼方法

参考:「のみ込む力」、「食べる力」を維持する健口体操

飲み込んだり、食べたり、話したりするためのお口の機能は年齢とともに低下しがちです。無理なく継続的に“健口体操”を実施してお口の健康を維持していきましょう。

くっぽちゃんの健口体操

**くっぽちゃんの
けんこうたいそう
健口体操**

おいしく安全に
食べるための体操です。



一緒にやってみてね

1 まず深呼吸から



すって はいて

2 首の運動です



みぎ ひだり
うへ した
まわしてみぎにひだりに

3 つぎは肩の運動です



あげて さげて

4 頬の運動です



ほほをふくらませましょう
ほほをすぼめましょう

5 唾液腺(だえきせん)のマッサージです



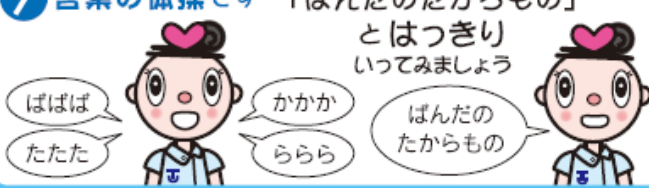
じこせん 耳下腺
げっかせん 舌下腺
あごの内がわをおします
あごの下をおします

6 舌の運動です



出したり引っこめたり
左右にうごかします
上下にうごかします
大きくまわします
みぎにひだりに

7 言葉の体操です 「ばんだのたからもの」とはつきりいってみましょう



ばばば たたた かかか ららら ばんだのたからもの

8 最後に深呼吸



おしまい



おつかれさまでした

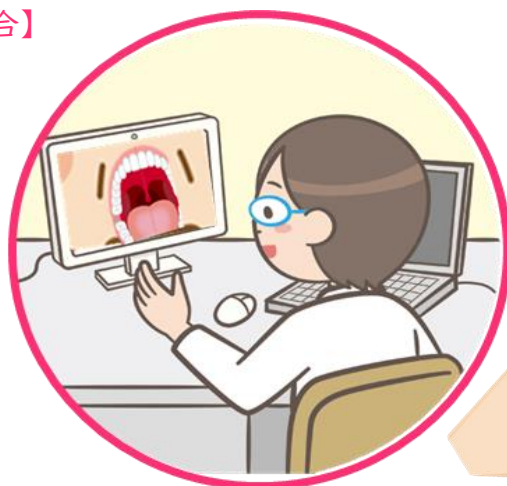
4. 相談・指導・ケア等の実施における準備

(2) オンライン相談の流れ

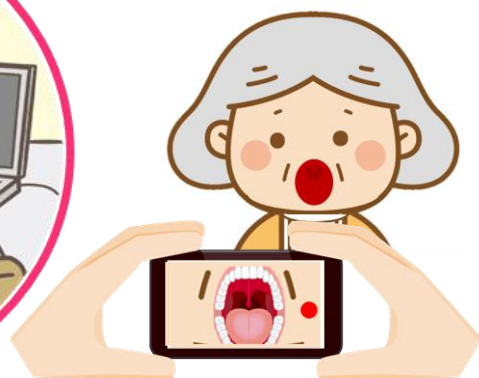
= 準備する通信機器等 =

動画や画像を撮影して遠隔の歯科専門職に相談するには、カメラが付いているスマートフォンやタブレット等、インターネットに接続可能な端末を準備します。

【リアルタイムで相談をする場合】
インカメラ（自分が映る）に
設定して実施



【動画や画像を送付する場合】
アウトカメラで撮影して送付



機関や施設等が団体としてスマートフォンやタブレットを使用する場合は、運用ルールを定めて使用する必要があります。
運用ルールは、「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン（厚生労働省）」に沿って検討します。

= 実施場所の準備等 =

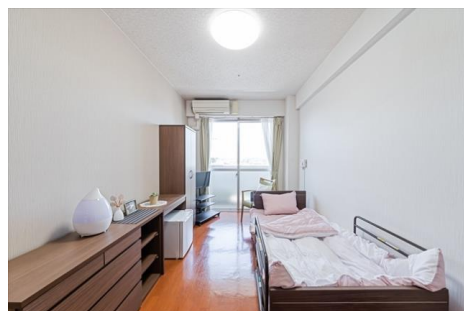
明るい
場所



いつもの
環境

全身の状況やお口の中を撮影するにあたり、できるだけ明るい場所、照明を付けた場所を準備します。

ご自宅の場合は、日頃過ごすお部屋など緊張が少ない環境で実施してください。



POINT

リアルタイムで相談をする場合は、お部屋がインターネットに接続できる場所か事前に確認しておくで安心です。

4. 相談・指導・ケア等の実施における準備

(2) オンライン相談の流れ

= リアルタイムで動画による相談をする際の撮影の流れ =

事前に歯科専門職等の参加者と実施日・時間の調整をします。

相談の開始は歯科専門職等側からの呼び出しに応答して開始することが多いです。

応答後は歯科専門職側に状況や状態を伝えながら相談をします。

お口の観察の手順

撮影
手順

1 全体

表情や全身の状態などを映します。その際に、相談したい内容を伝えながら会話をしていきます

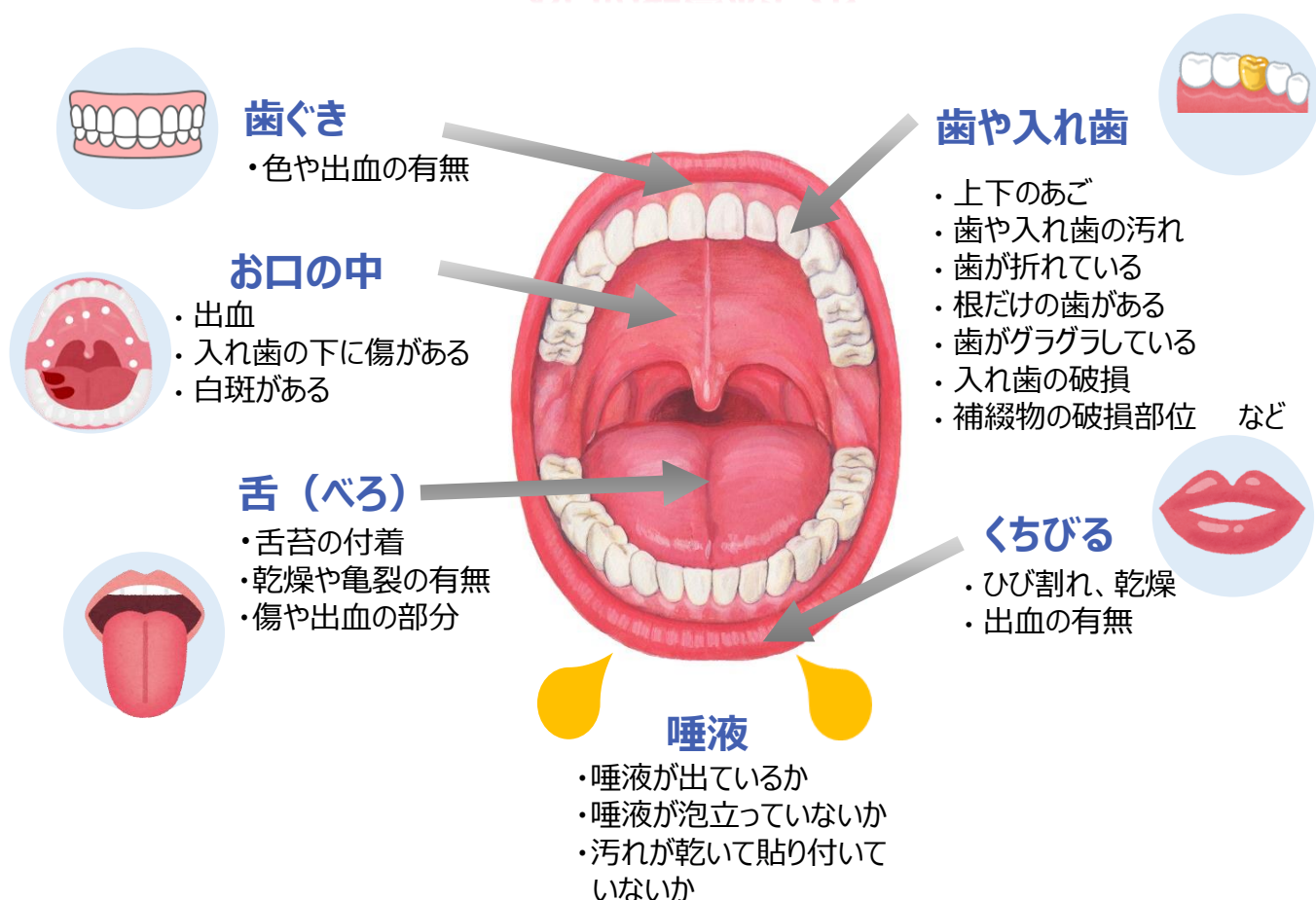
2 お口周辺

可能な範囲で口を開いてもらい、スマートフォンやタブレット等を近づけお口全体を撮影をしていきます

3 確認箇所

特に歯科専門職に確認したい箇所がある場合は、ピンポイントにスマートフォンやタブレット等を近づけます

お口の観察ポイント



4. 相談・指導・ケア等の実施における準備

(3) お口の撮影方法イメージ

= お口の写真の撮影方法例 =

歯科専門職に送るお口の写真の撮り方を以下に紹介します。

くちびる



歯ぐき



舌



上の歯や
お口の中の上側



下の歯や
お口の中の下側



頬の内側



出典：令和3年度厚生労働省事業

「ICTを活用した医科歯科連携等の検証事業等一式」

留意事項

無理にお口を開ける必要はありません。可能な範囲で撮影して歯科専門職へ送りましょう。

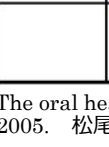
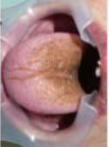
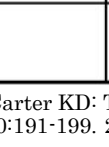
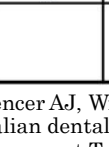
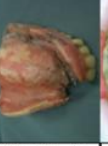
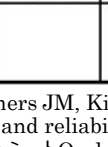
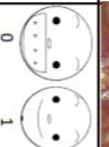
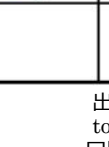
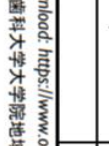
写真と一緒に「どんな状態であるか」等の補足情報を伝えることも大切です。その際は、「●●が○○になっている」等、「どの場所」が「どのように」になっているかを伝えてください。

特に高齢者の歯の状況を伝える場合は、「入れ歯」なのか「ご自身の歯」なのかも重要な情報の1つになります。

4. 歯科専門職への相談・指導・ケア等の依頼方法
参考;お口の確認に活用できるアセスメントツール

高齢期のお口の状態を確認して歯科専門職に情報を伝える際に、写真付きのツールを使用すると確認しやすい場合もあります。介護職員等が使用する例を以下に紹介します。

口腔衛生アセスメントツール（OHAT）日本語版

ORAL HEALTH ASSESSMENT TOOL 日本語版 (OHAT-J)									
ID:		氏名:		評価日:		/		/	
項目		0 = 健全		1 = やや不良		2 = 病的		スコア	
口唇		正常、湿潤、ピンク		乾燥、ひび割れ、口角の発赤		腫脹や腫痛、赤色斑、白色斑、潰瘍性出血、口角からの出血、潰瘍			
舌		正常、湿潤、ピンク		不整、亀裂、発赤、舌苔付着		赤色斑、白色斑、潰瘍、腫脹			
歯肉・粘膜		正常、湿潤、ピンク		乾燥、光沢、粗造、発赤、部分的な(1-6歯分)腫脹、義歯下の一部潰瘍		腫脹、出血(7歯分以上)、歯の動揺、潰瘍、白色斑、発赤、圧痛			
唾液		湿潤、漿液性		乾燥、べたつく粘膜、少量の唾液、口渇感若干あり		赤く干からびた状態、唾液はほぼなし、粘性の高い唾液、口渇感あり			
残存歯		歯・歯根のう蝕または破折なし		3本以下のう蝕、歯の破折、残根、咬耗		4本以上のう蝕、歯の破折、残根、非常に強い咬耗、義歯使用無しで3本以下の残存歯			
義歯		正常、義歯、人工歯の破折なし、普通に装着できる状態		一部位の義歯、人工歯の破折、毎日1-2時間の装着のみ可能		二部位以上の義歯、人工歯の破折、義歯紛失、義歯不適のため未装着、義歯接着剤が必要			
口腔清掃		口腔清掃状態良好、食渣、歯石、プラークなし		1-2部位に食渣、歯石、プラークあり、若干口臭あり		多くの部位に食渣、歯石、プラークあり、強い口臭あり			
歯痛		疼痛を示す言動的、身体的な兆候なし		疼痛を示す言動的な兆候あり、顔を引きたる、口唇を噛む、食事しない、攻撃的になる		疼痛を示す身体的な兆候あり、頬、歯肉の腫脹、歯の破折、潰瘍、歯肉下膿瘍。言動的な徴候もあり			
歯科受診		要		再評価予定日		合計			

Japanese Translation: Koichiro Matsuo permitted by The Iowa Geriatric Education Center
available for download: <https://www.ohcw-tmd.com/research/> revised Sept 1, 2021
日本語版作成: 東京医科歯科大学大学院地域・福祉口腔機能管理学分野 教授 松尾 浩一郎

出典 ; Chalmers JM, King PL, Spencer AJ, Wright FA, Carter KD: The oral health assessment tool-validity and reliability. Australian dental journal. 50:191-199. 2005. 松尾浩一郎, 中川量晴.

口腔アセスメントシート Oral Health Assessment Tool 日本語版 (OHAT-J) の作成と信頼性, 妥当性の検討. 障害者歯科. 37:1-7. 2016.

Oral Health Assessment Tool (OHAT) 日本語版. Available from: <https://www.ohcw-tmd.com/research/>

5. 参考 歯科領域におけるスマートフォンやタブレット等を活用した 相談・指導・ケア等の実施イメージ

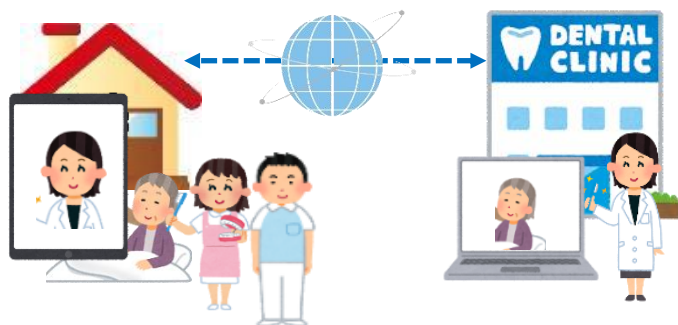
=歯科領域における情報通信機器を活用したモデルの紹介=

歯科領域でスマートフォンやタブレット等を利用してリアルタイムでつながって相談・指導・ケア等を実施する方法の関係者や実施の主な内容を紹介します。

様々な場面で歯科領域と連携する可能性があるため、お口に関して少しでも気になることは歯科専門職に相談をすることをお勧めします。

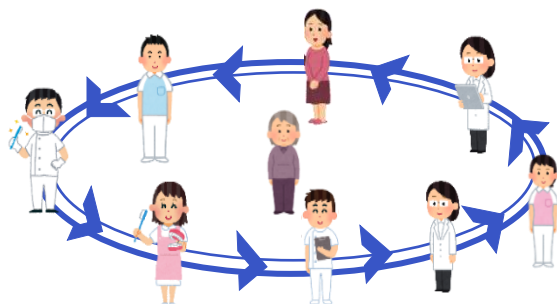
I 歯科医師と利用者をつなぐモデル

(利用者と一緒に歯科衛生士や看護師、介護職員が同席してサポートする場合もある)



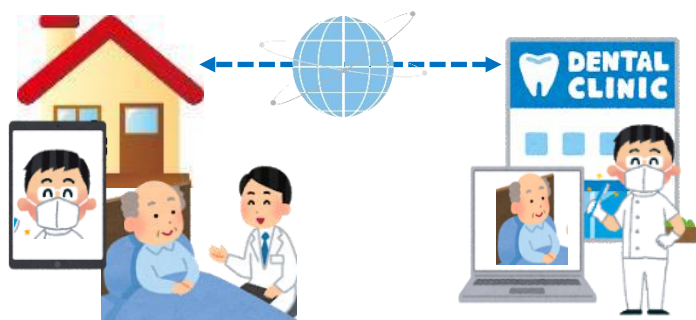
利用者のお口に違和感があったり、継続的に歯科医師にお口の観察をしてもらう必要があるときに情報通信機器を活用して遠隔にいる歯科医師にお口を確認してもらいます。利用者と一緒に歯科衛生士や看護師、介護職員が同席して実施のサポートしながら実施することもあります。

II 利用者に係る様々な専門職がつながるモデル（多職種連携）



利用者に関わる関係者が情報通信機器を活用したカンファレンスの実施、利用者側に介護職員等が同席し、他の関係者をオンラインで繋ぎ食事の様子を観察してアドバイスをするなどの利用もできます。また、利用者に関わる関係者のみで情報通信機器を活用しての意見交換や情報共有も含まれます。

III 歯科医師と医師をつないで利用者の状況を確認するモデル



在宅療養等を行っている利用者に対し食支援等で医師・歯科医師等が関与している場合に、利用者側に歯科医師や医師がいる場合に、必要に応じてオンラインで利用者側に居ない歯科医師・医師が利用者のお口の状況や管理状況について確認し情報を共有することもあります。

5. 参考 歯科領域のスマートフォンやタブレット等を活用した お口の相談実施の流れ

=歯科領域とリアルタイムで連携する際の流れ=

リアルタイムで歯科専門職にお口の中を確認してもらう場合の流れのイメージは、以下の通りです。実施にあたっては、関係者間で実状に合わせた手順を作成し、対象者の状態に合わせて対応することが重要です。

手順	利用者（ご家族）・ 病院・介護施設等	歯科医療機関 （支援側）	備 考
1.説明	【実施内容の同意】 リアルタイムで実施する内容、実施計画書の説明を受けて、実施内容の同意	【実施内容の説明】 利用者（家族等の関係者含）へ実施内容、実施計画書の説明を行い同意を得る	※入所施設の場合は入所時に説明を実施
2.日程調整	【予約調整】 実施日の調整 【予約日の共有】 予約日を共有すべき関係者に予約日の共有 ※共通のシステムを利用している場合は登録担当をあらかじめ決定しておく	【予約調整】 実施日の調整	※あらかじめ歯科医療機関側と実施可能日を調整するとスムーズに調整が可能
3.実施 （事前準備）	【実施準備】 通信機器・実施環境の整備 【呼び出し応答】 呼び出しに応じる	【実施準備】 通信機器の立ち上げ 【呼び出し】 実施時間になったらコールして呼び出し	※スマートフォンやタブレット等の充電、電波の確認。（Wi-Fiルーターを使用する場合はルーターの充電確認も実施） ※呼び出し、応答のフローは実施施設と歯科医療機関で個別に事前調整
4.実施	【診察等の実施】 利用者の顔が見える状態で接続し、始めにお口以外の身体の状態確認等を実施し、その後、お口の中必要な箇所の確認を実施 【予約調整】 次回の予約調整		
		【予約調整】 次回の予約調整	
5.実施後 （次回予約）	【情報共有】 実施後の情報共有・整理の実施、次回の内容確認	【情報共有】 実施後の情報共有・整理の実施、次回の内容確認	※情報通信機器をつないだまま実施するか、終了後に書面等で実施するかは関係者間で事前に調整

この手引書は令和5年度 老人保健事業推進費等補助金
(老人保健健康増進等事業分) 中山間地域等での情報通信機器等を活用し
た歯科をとりまく在宅医療介護連携に関する調査研究事業
にて作成。

不許複製